

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17H06134	研究期間	平成29(2017)年度 ～令和3(2021)年度
研究課題名	史上最大の CMB 望遠鏡群で観る ビッグバン宇宙の種火とニュート リノ質量の絶対値	研究代表者 (所属・職) (令和2年3月現在)	田島 治 (京都大学・大学院理学研究科・ 准教授)

【令和2(2020)年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、CMB 望遠鏡群 Simons Observatory により宇宙マイクロ波背景放射に B モードを検出し、インフレーション宇宙論の検証とニュートリノ質量の精密測定を目指すものである。</p> <p>当初計画では1台であった SAT 望遠鏡が3台に拡充され、その心臓部である極低温光学系の製作と性能試験を全て日本グループが担当している。測定精度の向上が期待でき、国際共同研究における評価も高まっているものと判断される。また、関連する技術開発は順調に進められており、観測への準備は整いつつある。なお、計画変更のため当初予定に比べ、観測開始が2021年度にずれ込んでいることから、今後の一層の奮起を期待する。</p>		